きらりら子育てサロン

（独立行政法人　福祉医療機構子育て助成事業）

1、趣旨目的	○地域包括ケアの一環として保健医療福祉との連携を深めながら、子育てに対する意識を高め、子どもが心豊に、たくましく育つ総合的な環境づくり ○子育ての仲間つくり、居場所づくり ○情報交換、勉強会、リフレッシュなど
2、サロン開設	平成18年4月1日～現在
3、連携者	内科診療所・歯科診療所・公立短期大学（教授、学生）・図書館・老人クラブ・幼児学園・市保健師・市栄養士など各分野地域スペシャリスト
4、スタッフ	保育ボランティア　8名（有償・無償）
5、内　容	月3回（講演会・研修会・自主活動・その他） ※月1回は、小中学生ボランティアとの交流
6、利用登録者	60人

備北民報
平成20年（2008年）
3月11日 火曜日
備北民報株式会社
〒718-0003 岡山県新見市高尾2485-8
電話0867(72)0678 FAX0867(72)0635
http://www.bihoku-minpou.co.jp/ www.bihoku-minpou.co.jp/i/
第8586号

太平洋セメント
LPガス
岡山アポロガス株式会社
セメント・石油
田中実業株式会社

子育て応援 緊急時に迎え代行

6月のサービス開始へ

NPOきらめき広場 16日からサポーター養成講座

子育てと仕事の両立を支えようーと、特定非営利活動法人・NPOきらめき広場（奥津一冨美代表）は哲西診療所の協力を得て、「緊急子育て応援隊」をスタートさせる。予期しないけがや急な病気などで園や学校から保護者に迎えを要請された場合、勤務中の保護者に代わって迎えにいくサービス。同法人は3月16日(日)からサービスサポーターの養成講座を開講し、6月ごろのスタートを目指す。（広瀬）

核家族化、女性の社会進出を背景に、勤務中に職場を抜けて子供を迎えに行くことが困難な時代になった。同法人事務局は「働きながら子育てをしている親にとって、困るのは子供の病気時の対応だと言われている。流れ作業の工場に勤めているため迎えが困難ーという声も実際に寄せられていた。仕事以外にも親自身の病気や冠婚葬祭などで子供を家で見られない場合もある。しかしながら、そうした緊急時に頼れる先は少ない」と話す。

サービスは、職場を離れることが困難な親に代わって子供を迎えに行き、当面は哲西診療所で受診、保護者の到着を待つ。サービスの利用はあらかじめ学校・園の承認を得て登録した保護者の子供に限る。同時に「病後児一時預かり活動」もスタートさせる考えで、こちらは感染症などで回復直後に登校、登園ができない子供や病気の回復期で安静が望ましい子供を「きらめき広場・プレイルーム」で預かるという。

サービス開始に向けボランティアサポーターを募り、3月16日(日)から3回の養成講座を開講。同法人事務局は「サポーターの養成が大きな目的だが、哲西地域に限らず講座を受講してもらい各地域で支援団体を立ち上げてほしい」と話している。詳しくは事務局（電話94・2110）へ。

全国に広がる家づくりネットワーク
INOS
イノスグループ
お問い合せ・ご用命は
上山住建
本郷 TEL96-2920
0120-69-2920

山陽新聞
2008年(平成20年)5月21日 水曜日

子育て〝緊急事態〟支援

NPOが来月、奉仕団体発足 新見・哲西の共働き対象

子どもの健全育成活動などを手掛けるNPO法人・NPOきらめき広場（新見市哲西町矢田）は六月、哲西地区の共働きの保護者に代わり子どもの世話をするボランティアグループ「子育て緊急時応援隊」を発足させる。

子育て中の保護者に安心して仕事に励んでもらうのが狙い。応援隊は同地区の子育てを終えた女性ら約四十人で組織。子どもが急病で学校から迎えを要請されたり、感染症の病後で登校できず、家庭でも保育が難しい場合、保護者からの依頼で出動する。子どもを学校に迎えに行き、哲西診療所(同所)で受診させたり、きらめき広場・哲西のプレイルームなどで日中預かる。

利用は事前登録が必要で、対象は哲西地区の中学生以下、一歳三カ月以上の子ども。時間は午前八時半～午後五時半。利用者の負担金は一時間五百円。診療費は別途必要。

応援隊発足に先立ち、同法人は三月から人が同診療所の中圭介医師から病気やけがへの対処法などを学び、講義終了後に修了証を受け取った。

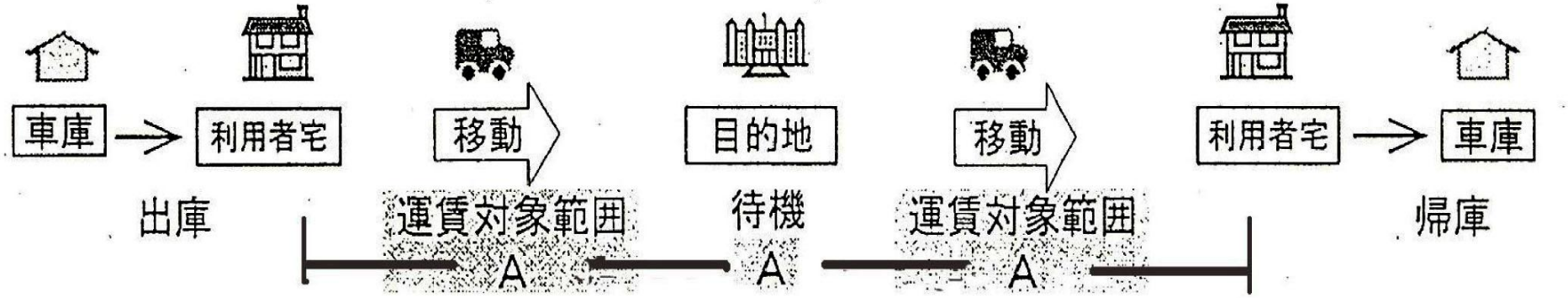
同法人の深井正事務局長(七二)は「子育てと仕事の両立は両親にとって最大の課題。気軽に利用してもらいたい」と話している。問い合わせは同法人（0867(94)2143）。

（岡亮佑）

福祉有償移送サービス

許可事業者	特定非営利活動法人　NPOきらめき広場
登録年月日	平成20年2月15日登録（18年2月17日初回許可
サービス開始	平成18年　3月　1日
運転従事者	18名（有償ボランティア）
利用登録者	60名（平成20年10月30日現在）・新見市民限定
利用料金	時間制　（1，050円／30分）・下図 A 部分

（利用例）



地域安全活動

１９．８～２０．８

登録会員　３５０名

巡回回数　３７１回

走行距離　13,198Ｋｍ

パトロールボランティア

延べ　６５２人

日替わりでパトロールをする会員・車から下りて子どもの見守り

見たい・知りたい・伝えたい！
みんなの広場 Kirarira News

地域の安全は地域住民で！

哲西地域安全会
（会長　村上　昇）

独立行政法人福祉医療機構の助成を受けてパトロール車を購入

８月８日に行われた出発式では、村上会長が『「地道な長続きのする活動」を合い言葉に更に哲西地域の安全活動を充実して、安全安心の町づくりに一役を担うことを強く願っています』と挨拶され、更なるご支援とご協力を呼びかけました。

＜パトロール車による主な活動＞

●広報活動
犯罪のない安全・安心なまちづくりを呼びかける。

●通学路の見守り
通学路をパトロールし、児童生徒が犯罪に巻き込まれることを防止。少年非行の防止。

●独居老人宅の訪問
独居の高齢者等犯罪被害にあいやすい家庭の訪問活動を行なうとともに、話し相手になったり、悩みや困りごとの相談を受ける保護活動。

●防犯情報の収集・提供
防犯パンフレットの配布、防犯情報を提供するとともに、地域の安全に役立つ各種情報の収集。

●危険箇所の点検・把握
通学路の点検。
カーブミラー・防犯灯等の点検。
防犯灯のない道路、空き家等犯罪が発生しやすい場所の把握。
水害、地震等災害時の危険箇所の把握。

●交通指導

●優良防犯器具の普及斡旋設置

2007年(平成19年)8月14日　火曜日　山陽新聞

子どもを守れ

パト車で安全訴え　新見・哲西地区導入し出発式

パトロールに出発する広報車

新見市哲西町地区の住民でつくる自主防犯組織・哲西地域安全会（村上昇会長）は、子どもの安全を呼び掛けるパトロール広報車を導入。同市哲西町上神代の矢神小で八日、出発式を行った。同安全会は、二〇〇六年四月に発足。子どもの登下校時に合わせて見守り活動を行ったり、講演会を開いている。広報車は、独立行政法人・福祉医療機構（東京）の助成を受けて購入。軽ワゴン車で上部に拡声器が付いており、安全を呼び掛ける。

式には、同小児童や地域住民ら約七十人が出席。村上会長が「子どもたちのさらなる安心・安全な暮らしにつながるよう、皆さんの協力をお願いしたい」とあいさつ。会員ら四人が乗り込んだ広報車を拍手で見送った。

今後は、会員二人程度が日替わりで車を運転し、哲西地区をパトロールする。（岡亮佑）

新見市立哲西図書館

指定管理者

特定非営利活動法人
NPOきらめき広場

指定管理期間

平成17年3月1日～25年3月31日

蔵書数　68，505冊

北民報
第7666号
平成17年（2005年）
2月23日　水曜日
備北民報株式会社
〒718-0003 岡山県新見市高尾2485-8
電話0867(72)0678 FAX0867(72)0635
http://www.bihoku-minpou.co.jp/ www.bihoku-minpou.co.jp/i/

太平洋セメント
LPガス
岡山アポロガス株式会社
セメント・石油
田中実業株式会社

指定管理者にNPOきらめき広場

運営経費を約200万円節減

哲西町図書館　開館時間は現状維持

哲西町は22日、同町図書館の指定管理者に、産声を上げたばかりの特定非営利法人・NPOきらめき広場（奥津一冨美理事長・26人）を指定することを決めた。開館時間は現状の「午前10～午後7時」を維持し、できるだけ休館しない方針で、サービスが低下しないよう努力する。（桂）

この日に開かれた臨時町議会で、公の施設（哲西町図書館）にかかる指定管理者の指定案を原案通り可決したもので、指定期間は3月1日㈫から平成20年3月31日まで。

新市誕生後、同町図書館（3月31日㈭からは新見市立哲西図書館）の開館時間は「午前10時～午後5時」になる可能性があったようだが、現状の「午前10時～午後7時」を維持。毎週木曜日の休館日を解消することに加え、年末年始や蔵書点検日以外はできるだけ休館しない方針で、サービスの向上を図る。

また、今まで行ってきた図書館便り、絵本の読み聞かせ、映画会を継続するほか、子供同伴の父母らが安心して利用できるよう保育士を配置し〝託児所〟付きの図書館にする考えもあるという。

同図書館の管理・運営に当たるスタッフは館長1人（臨時）、司書1人（同）、司書補助3人（パート）、臨時管理員1人。営利を目的としていないNPOの性格上、指定管理者制度移行後も行政からの委託費に頼ることになるが、年間約200万円の運営経費が節減できるという。

NPOきらめき広場は昨秋の設立総会、県知事の認証、登記などを経て産声を上げたばかり。保健・医療・福祉の増進、社会教育、街づくり、学術・文化・芸術・スポーツの振興、環境保全、子供の健全育成、情報化社会の発展を図る活動を展開する。

指定管理により実現したこと

◎開館日数拡大

年間　298日→354日

毎日 9:00～19:00開館

◎新しいサービス

乳幼児一時預かりサービス

月刊情報誌に図書館ページ

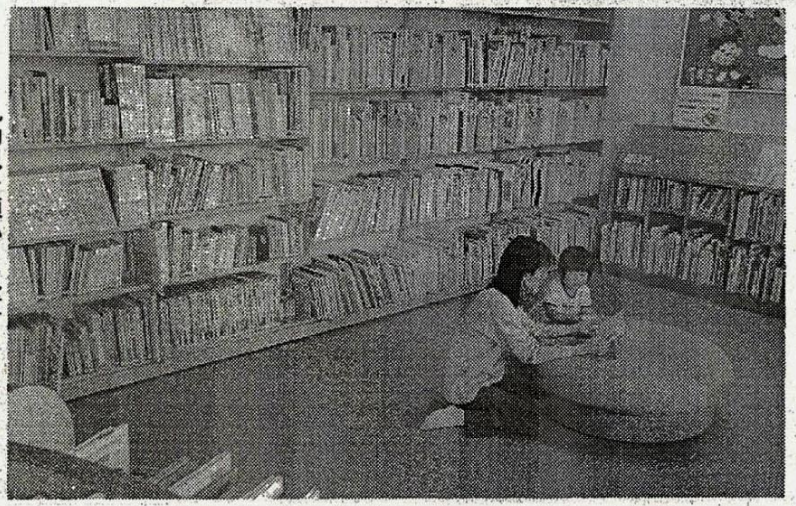
民報
平成17年（2005年）
5月30日 月曜日
備北民報株式会社
〒718-0003 岡山県新見市高尾2485-8
電話0867(72)0678 FAX0867(72)0635
http://www.bihoku-minpou.co.jp/ www.bihoku-minpou.co.jp/i/

乳幼児一時預かりへ

NPOきらめき広場 哲西図書館で

毎月第1、3火曜に実施

哲西図書館を管理運営している特定非営利法人・NPOきらめき広場（奥津一冨美代表）は近く、図書館利用者を対象にした乳幼児一時預かりを始める。毎月第1、3火曜日の午前10時から2時間。保育士1人を置き、母親らに本選びや読書を楽しんでもらう。初回のサービスは6月7日(火)。（広瀬）



乳幼児を預かる児童コーナー

NPOきらめき広場は今春、利用者を対象にアンケートを実施。乳幼児を抱える母親らの意見を踏まえてサービスの提供に踏み切った。預かる時間帯などもアンケート結果に基づいている。図書館の一角にある児童コーナーに保育士1人を置いて無料で預かり、賛助会員の会費と寄付金で運営する。

同広場は「子育て支援」を活動の柱の一つに据えている。乳幼児の一時預かりは、図書館利用の促進を図ると同時に乳幼児を抱える母親たちに意見交換の場を提供するのが大きな狙いだ。

行政改革（経費削減）の一環として公立図書館の民営化の動きが全国に広がっているが、同図書館のようにNPO法人が運営する例は先進的。同広場事務局は「行政、企業にはないNPOの機動性を生かした試み。乳幼児の一時預かりは他に類を見ないと思う。今後は隣接する診療所利用者の乳幼児一時預かりや子育て支援教室、子供の健康づくり教室などに発展させていきたい」と話している。

なお、一時預かりに関する問い合わせは同広場事務局（電話94・2143）か同図書館（94・2110）へ。

月曜日ポイント5倍
安達太陽堂
☎72-7666

木曜日も貸し出し

哲西図書館

哲西図書館はこのほど、木曜日も貸し出しを可能にした。

同図書館は特定非営利法人・NPOきらめき広場が指定管理者。サービス向上を目指し、これまでの開館時間（午前10時～午後7時）を維持したほか、休館日と定めていた木曜日を4月から開館。貸し出しも可能にした。年末年始と蔵書点検日を除いて年中無休のサービスを提供する。

図書館を民営化する動きは行政改革の一環として全国に広がっている。営利を目的としないNPOの性格上、同図書館は行政からの委託に頼るが、年間200万円の運営経費節減が見込めるという。

「ただし、サービスはより良いものを」と職員は話している。（広瀬）

市町村合併後の展開

- 「ＮＰＯきらめき広場」の設立（行政サービスの谷間・隙間を埋める公共サービスの担い手）
- 市民主導で、「健康福祉まつり」を復活
  ”自分でまもる　みんなで支える　みんなの健康”
- 地域包括ケア推進会議の発足（愛育委員会・栄養委員、婦人会、老人クラブ、民生委員、社会福祉協議会、医科診療所、歯科診療所、老人福祉施設、市哲西支局、消防署、学校、ＰＴＡ、ＮＰＯきらめき広場）
- 岡山県食育推進モデル地区指定
- 保健・医療・福祉の一体化　＋　教育・文化・産業との連携

→ 「まちづくり」への展開

地域におけるＮＰＯの役割

- 非営利性と運営の透明性による公共の担い手としての活躍
- 多様な主体による隙間のない公共サービスの実現
- 官と民とをつなぐ役割
- ＮＰＯの多様性、柔軟性、先駆性、フットワークの良さなどの特性を活かす。
- 時代に先駆けた社会実験への挑戦
- 市民により近い視点からの政策提言
- 官民協働の実現

今後の課題

・ＮＰＯの経営レベルと財政基盤の確立
・ＮＰＯの評価（公益性に対する市民認証）
・ＮＰＯの情報公開度（市民の信頼）
・ＮＰＯの限界
　全分野に対応するＮＰＯは存在しえない
・ＮＰＯと官（行政）の距離
　行政サービスの下請けにはならない
　市民目線で官の客観評価ができる
　政策提言を行う

社会的信頼の獲得